

研究会主題「生活環境モニタリングとしての地域がん登録の役割」

岡本直幸
神奈川県立がんセンター

地域がん登録全国協議会の総会研究会、実務者研修会
ならびに自由集会を下記のとおり開催いたします。多く
の方の参加をお願いいたします。

日時：

平成12年9月13日(水) 実務者研修会、自由集会
14日(木) 総会・研究会、ポスター発表

場所：

- ・神奈川県保健教育センター(実務者研修会)
所在：横浜磯子区東町(JR「根岸駅」徒歩3分)
- ・横浜中華街「横浜大飯店」(自由集会)
- ・神奈川県総合医療会館(総会・研究会・ポスター発表)
所在：横浜市中区富士見町(JR「関内駅」徒歩7分、
横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」徒歩2分)

費用：

参加費3,000円、懇親会費3,000円、研修会1,000円、
自由集会4,000円

プログラム：

・9月14日(木)

- 08:30 受付開始、ポスターセッティング
- 09:15 開会
- 09:30 報告(実務者研修会・自由集会、神奈川県のがん登録の現状)
- 10:00 教育講演「前立腺がんの日米比較病理疫学的研究」
演者：原田昌興(神奈川県立がんセンター)
座長：田島和雄(愛知県がんセンター)
- 11:00 総会
- 11:30 昼食
- 12:30 特別報告「わが国の個人情報保護基本法(案)」
演者：瀬上清貴(厚生省)
座長：浜島信之(愛知県がんセンター)
- 13:30 特別講演「原爆とがん登録」
演者：池田高良(長崎大学)
座長：大島明(大阪府立成人病センター)
- 14:30 ポスター見学、休憩
- 15:15 シンポジウム「環境モニタリングとしての地域がん登録の役割」
座長：村田紀((財)放射線影響協会)
山口直人(国立がんセンター)

シンポジスト：

- 岡本直幸(神奈川県立がんセンター)“基調報告”
- 中平浩人(新潟大学)“農薬・水質汚染”
- 兜真徳(国立環境研究所)“送電線下・電磁場”
- 久住静代((財)放射線影響研究所)“放射線”
- 祖父江友孝(国立がんセンター)“大気汚染”
- 渡辺昌(東京農業大学)“廃棄物・ダイオキシン”

18:00 終了

18:30 懇親会

・9月13日(水)

- 13:00-17:00 パソコン実習、がん統計入門
講師：味木和喜子、木下洋子(大阪府立成人病センター)
井上真奈美(愛知県がんセンター)
高山喜美子(千葉県がんセンター)
西野善一(東北大学)
小山幸二郎(放射線影響研究所・広島)
小笹晃太郎(京都府立大学)
陶山昭彦(放射線影響研究所・長崎)

・9月13日(水)

- 18:00-20:00 自由集会
横浜の中華街(横浜大飯店)にて、フリーディスカッションと懇親会を開催。

総会・研究会の主題として「生活環境モニタリングとしての地域がん登録の役割」を取り上げました。現在のわが国で多くの人が不安に感じ始めている生活環境の悪化(電磁場、ダイオキシン、農薬、水質汚濁、放射線など)に焦点をあて、“地域がん登録によるモニタリングの可能性とその意義”のシンポジウムを中心に研究会を進め、「地域がん登録」の有用性の再確認を行いたいと思っています。この研究会の成果によって、行政や国民の皆さんの「地域がん登録」に対するコンセンサスが広まることを期待しています。

特別講演では、唯一の被爆国であるわが国の状況を改めて見直すために「被爆と地域がん登録(仮題)」を取り上げ、また、地域がん登録の根幹に係わる「個人情報保護」の問題を取り上げ、その意義とがん登録との関係についての講演を予定しています。

この「地域がん登録全国協議会総会研究会」では一般演題は募集しておりませんが、本横浜大会ではポスターセッションを取り入れ、地域がん登録関係者の交流の場にしたいと思っています。多くの方々のポスター参加をお願い致します。では、横浜でお待ちしております。

問い合わせ：事務局 045(391)5761(ext.4030)、

e-mail：okamoto@gancen.asahi.yokohama.jp